

表紙の写真

故 上倉沢棚田「せんがまち」の田植え 郷の風景 人と自然が共に育つ場所



5月23日、上倉沢の千榎の棚田で、田植えが行われました。棚田の保全活動が続けるNPO法人「せんがまち棚田倶楽部」が、静岡大学棚田研究会の学生などと協力して開催する恒例行事。棚田オーナー制度に登録した人や地元住民など、およそ511人が参加し、田植え作業に汗を流しました。

参加者は湧き水が張られた水田に入り、一つひとつ丁寧に苗を植えていきました。子どもたちは田植えをしながら、カエルやイモリなどの棚田にすむ生き物を探したり、泥んこになって遊んだりして、自然とのふれあいを楽しんでいました。

田植え後は、棚田の美しい景観を眺めながら、地元の女性部が用意した特製弁当「千榎おごっつおう弁当」を味わいました。

1棚田のゆったりとした景観 2手作業で丁寧に植える 3田んぼの感触にドキドキ 4～6初めての田植えを楽しむ子どもたち 7 8作業後の特製弁当は格別のごちそう

空 みなみやま会館 こいのぼりコンサート に舞う鯉と華麗なステージ

4月29日、小笠南地区コミュニティセンターで「昭和の日 こいのぼりコンサート」が開催されました。多くの地域住民が来場し、大小のこいのぼりがたなびく会場で、華やかなステージが繰り広げられました。小笠南小学校児童によるパラパラダンスをはじめ、書道パフォーマンスやご当地アイドルのライブ、剣道の模範演舞など、多彩な発表に会場は大盛り上がり。子どもたちのいきいきとした姿に、会場は大きな拍手に包まれました。



1元気にパラパラダンスを披露する子どもたち
2こいのぼりが舞う中、書道パフォーマンスで観客を魅了

新 河城小学校新茶摘み体験 茶摘みで触れる地元の魅力

4月28日、河城小学校3年生が地元茶農家の渡邊のりお徳雄さんの茶畑で茶摘み体験を行いました。同小学校の総合学習の一環として、市の特産であるお茶について興味・関心を高めることを目的に毎年行われる恒例行事。35人の児童たちは、絵や実演を見ながらお茶摘みのコツや説明を聞いた後、茶摘みかごを腰に巻き付け、新茶の手摘みに挑戦しました。新茶の爽やかな香りに包まれる中で、プチッと新茶の摘む音を楽しんでいました。



1初めての体験に夢中になって取り組む児童たち
2摘みたての新茶につこり！